

第2回超電導応用研究会／第3回材料研究会合同シンポジウム

超電導磁石は様々な応用分野で機器の高性能化を目指した高磁場化が進められています。2012年度の第2回超電導応用研究会／第3回材料研究会合同シンポジウムでは、“超電導磁石の高磁場化の現状と展望”と題して、核融合、SMES、加速器、NMRなどの分野で磁石開発に携わっておられる研究者の方々に開発の現状や課題および将来展望についてご講演いただきます。また、最近メディアでも盛んに報道されており、超電導磁石とも関連が深い、ヒッグス粒子の探索実験についての特別講演も合わせて企画致しました。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

記

テーマ： 超電導磁石の高磁場化の現状と展望

日時： 2012年11月6日（火）

場所： 東北大学金属材料研究所 2号館講堂

(<http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/access.html>)

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

参加費：（資料代）2,000円

なお、懇親会（18:00～20:00、費用別途5000円程度）を行う予定です。奮ってご参加ください。

プログラム：

13:30～13:35	開会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・材料研究会委員長
13:35～14:15	（特別講演）CERN-LHC実験におけるヒッグス粒子探索・・・・・・・・徳宿克夫（KEK）
14:15～14:55	次世代加速器のための高磁場超伝導磁石開発・・・・・・・・菅野未知央（KEK）
14:55～15:35	強磁場用HTS及びLTS超伝導マグネットにおける電磁力対策とクエンチ保護 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・淡路智（東北大）
15:35～16:15	強磁場NMRマグネット応用・・・・・・・・・・・・・・・・松本真治（NIMS）
16:15～16:55	ヘリカル型核融合炉の高温超伝導オプション設計と100kA級接続方式導体の開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・柳長門（NIFS）
16:55～17:00	閉会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・超電導応用研究会委員長

オーガナイザ：菅野未知央（KEK）、淡路智（東北大）、小方正文（鉄道総研）

※ ご参加頂ける方は、10/30（火曜日）までに下記宛登録お願い致します。

（1）参加者氏名、（2）所属、（3）電話番号とe-mailアドレス（4）懇親会出欠

問い合わせ・事前登録連絡先：KEK 菅野 未知央（scap2012@m1.post.kek.jp）

2005～2008年度の超電導応用研究会シンポジウム論文集CD-ROMを販売しています（各年度2,000円で送料込み）。問合せ先：低温工学・超電導学会事務局 TEL：03-3818-4539, E-mail：LDJ04246@nifty.com